

# 會務報告

第 27 卷 第 12 號 昭和 16 年 12 月

## 役員會

### 第 17 回理事會 (昭. 16. 10. 27.)

出席者: 吉田, 黒田兩副會長, 青木理事外 4 名, 中村書記長, 小野寺庶務主任外 1 名

### 報告

1. 東北支部防空施設促進懇談會記事
2. 北海道支部商議員補充, 進來要君就任
3. 關西支部第 5 回役員會議事
4. 日本工學會評議員會議事
5. 本會出版の書籍類は例外配給の承認を受く
6. 中國四國支部發會式舉行概要
7. 滿洲土木學會第 2 回總會及朝鮮支部總會概要

### 議事

1. 關西支部昭和 17 年度收支豫算を別紙 (省略) 原案の通り承認
2. 北海道支部昭和 17 年度收支豫算を別紙 (省略) 原案の通り承認
3. 會誌編輯委員會委員藤野義男君退任に就き後任に天竺良吉君を依囑
4. 講演會は本年中開催を見合ふこととし正會員篠瀬玉造君の講演申出に對しても其旨回答すること
5. ジャパンタイムス社は本會刊行物の寄贈は御断りすること
6. 入退會を別記の通承認

### 第 18 回理事會 (昭. 16. 11. 10.)

出席者: 吉田, 黒田兩副會長, 青木理事外 4 名, 中村書記長, 小野寺庶務主任外 2 名

### 報告

1. 東北支部役員の変更
2. 朝鮮支部總會議事
3. 北海道支部第 16 回役員會議事
4. 滿洲土木學會との提携に關する覺書に調印を了す
5. 工業品規格統一調査會諮問の木材試験法案に對し別紙 (省略) の通り意見書を提出

### 議事

1. 東北支部昭和 17 年度收支豫算を別紙 (省略) の

### 通り承認

2. 昭和 13 年關東及關西地方風水害調査報告は豫約募集に依り頒布すること
3. 本部管内の地方講演會を 12 月上旬新潟縣に於て開催することとし具體案を次回協議
4. 編輯囑託左合正雄君辭職に伴ふ後任として瀬尾五一君を依囑

### 第 9 回常議員會 (昭. 16. 10. 27.)

出席者: 吉田, 黒田兩副會長, 青木常議員外 8 名, 中村書記長, 小野寺庶務主任外 1 名

### 報告

1. 會誌編輯委員會委員依囑
2. 北海道支部商議員補充
3. 本會出版の書籍類は例外配給の承認を受く
4. 中國四國支部發會式舉行
5. 入退會承認別紙 (省略)

### 議事

1. 關西支部昭和 17 年度收支豫算を別紙 (省略) 原案の通り承認
2. 北海道支部昭和 17 年度收支豫算を別紙 (省略) 原案の通り承認

## 總務部記事

### 第 4 回對爆調査委員會 (昭. 16. 10. 16.)

出席者: 吉田委員長, 奥田委員外 7 名, 小野寺庶務主任

### 協議事項

1. 森委員より提出の防空建築と土木の參考 (建築雜誌抜刷) を出席委員に配布
2. 防空土木資料集成案に就き淨法寺委員より各項目に就き説明あり討議の結果別紙 (省略) の通り一應の決定を見たり次回再應檢討の上防空土木資料第 1 回目次として會誌に登載すること
3. 前記第 1 回目次の前書を本間幹事に於て作成すること
4. 關係圖書の要旨を奥田委員に於て作成すること
5. 委員に河上房義, 畑野正兩君 (陸軍築城本部

を追加依頼すること

#### 第 5 回對爆調査委員會 (昭. 16. 10. 30.)

出席者：吉田委員長、青木委員外 9 名、  
小野寺庶務主任

#### 協議事項

1. 幹事提出の前書文章に就き出席委員の意見を求め原案の通り一應決定
2. 前回に於て一應の決定を見たる資料目次の各條に互り再検討を行ひ別紙(省略)の通り決定
3. 以上の前書及び目次は最近の會誌に登載發表することとし其の假刷を委員に配布して最後の意見を求めること
4. 資料の蒐集乃至要旨作成に就き一應別紙(省略)の如く其の分擔を定む

#### 第 6 回對爆調査委員會 (昭. 16. 11. 6.)

出席者：吉田委員長、青木委員外 8 名、小野寺庶務主任

#### 協議事項

1. 前回に於て一應の決定を見たる資料蒐集に関する分擔委員に就き協議し別表(省略)の通り決定
2. 會誌發表の際に於ける資料の記號及頁等の印刷方法に就き協議し下記凡例の如く決定

凡例： 右端上へ記號  
1-1-2

1-1-2 空襲目標 (昭. 16. 12.)

中央下部へ頁

(1)

3. 會誌發表に際しては一應陸軍省報導部の檢閲を受くこと
4. 防空に関する書籍(例へば防空の知識の如きもの)を購入すること
5. 奥田委員提出の文獻要旨に就き討議せり、次回引續き討議を行ふこと

#### 第 7 回對爆調査委員會 (昭. 16. 11. 13.)

出席者：吉田委員長、青木委員外 11 名、小野寺庶務主任

#### 協議事項

1. 會誌に登載することとする資料目次を假刷に依り最後の檢討を行ひ別紙(省略)の通り決定せり
2. 奥田委員提出の文獻要旨に就き前回に引續き討議を行ひ別紙(省略)の通り一應決定、次回再檢討を行ふこと

### 編輯部記事

#### 第 11 回會誌編輯委員會 (昭. 16. 11. 14.)

出席者：廣瀬委員長、淺井委員外 6 名、左合前編輯主任、瀬尾編輯主任外 2 名

1. 第 27 卷第 10 號登載原稿謝禮を決定
2. 第 28 卷第 1 號登載原稿を次の如く決定  
論說報告：列車により隧道内に生ずる風速に就て(正, 上野豊次郎), 4 連モーメント定理による架構の振動問題の解法に就て(其の 2)(正, 岡本舜三)  
彙報：彈性基礎上の梁(准, 三澤 浩), ドイツに於ける堰堤に関する發明(2)(正, 吉藤幸朔), 各國の雜誌に現れた水理學の文獻(8)(正, 本間 仁)  
抄録：作戦區域に於ける道路工事(2), 工事中の Shasta 堰堤, 地表の物理的性質(其の 1), 可數式振動計に就て(其の 1), 最近の伊太利に於ける鐵筋コンクリート規定, セメント貯藏と貯藏塔脚の歪, 橋脚に聚結した連續鈹桁橋, 爆破に對する岩石の硬さ, 傾斜補剛材を有する椽接桁, ミソリー州の連續緊拱橋, マスコンクリートの龜裂, 鐵筋腐蝕試驗, 鐵筋コンクリート桁構特に拱橋の彈性的可塑性的變形
3. 對爆調査委員會資料抄録を本會抄録員に於て引受の件は保留し次回協議の事とせり
4. 本年度最優秀論文決定の爲め各委員より候補論文を考慮し次回に於て協議する事とせり
5. 對爆調査委員會の記録は卷末に掲載する事とせり

### 關西支部記事

#### 第 5 回役員會 (昭. 16. 10. 23.)

出席者：橋本支部長、小林商議員外 5 名、岩田前支部長外 3 名、兵藤幹事長、大森幹事外 2 名、中川囑託外 1 名

#### 議 事

1. 關西大會實施に關する件
2. 昭和 17 年度事業豫定に關する件
3. 昭和 17 年度收支豫算に關する件

### 東北支部記事

#### 商議員及幹事異動 (昭. 16. 10. 29.)

新任商議員 稻葉通彦君、大島太郎君、幹事庄司陸

太郎君,

退任商議員 岡崎信雄君, 庄司陸太郎, 幹事天竺良吉君

### 北海道支部記事

第 16 回役員會 (昭. 16. 10. 22.)

出席者: 小野支部長, 小出商議員外 7 名, 神保前支部長, 大坪幹事長, 板倉幹事外 2 名, 岡本主事

#### 議 事

1. 昭和 17 年度收支豫算に關する件
2. 防空土木委員會委員に謝意を表する件
3. 研究事業に關する件
4. 進來要君を商議員に依囑の件

### 朝鮮支部記事

第 2 回定時總會 (昭. 16. 10. 11.)

會 場: 朝鮮遞信事業會館

#### 議 事: 會務報告

支部長及評議員改選の結果當選者次の如し

支部長 棟葉孝平君

評議員 新郷高一君, 藏謙次郎君, 佐藤時彦君, 小橋朝雄君, 大島滿一君, 富田直次君, 鈴木 敏君,

#### 講 演:

- 1) 歐羅巴に於ける材料研究室視察報告 工博 新郷高一君
- 2) タコマ橋墜落の原因に就て 工博 青木楠男君

#### 映 畫:

- 1) タコマ橋墜落實況, 2) 鳴鶴江水壘堰工事
- 3) 海南島事情 (出席者 130 名)

懇親會: 朝鮮ホテル (出席者 78 名)

### そ の 他 記 事

土木學會誌第 27 卷第 11 號を發行成規の手續を了し會員に配布せり

## 入 會 及 轉 格 會 員

### 特 別 會 員 (入 會)

朝鮮小野田セメント製造會社

2 級

### 正 會 員 (入 會)

海野 照、治 片岡 喬 岡部 剛、佐野松太郎 片平 誠 櫻井源三郎  
朱宮 榮重 渡邊 勝大

### 准 會 員 (入 會)

池谷 大正 岩塚 良三 魚住 鐵五郎 後木 尙敏 打林 宏 井上 滿 藤平 健  
大槻 壽夫 久保 清繁 加納 岩雄 茂 森 豐次 鈴木 一 郎 木會 平 雄  
塚田 正之 角井 弘 寺 尾 似 前 島 馨 高山 時 明 保 浦 平 雄  
若竹 信一 吉野 貞 治 佐久間 德 哉

### 學 生 會 員 (入 會)

伊吹山 四郎 石田 廣 宇賀 治 弘 石井 耕一 郎 岩切 欣久 梅村 義郎 郎  
小田嶋 周三郎 岡部 隆 勝本 晋一 郎 河野 淳二 郎 北原 正一 野 佐伯 其 一  
灘 又 衛 田 中 武 中山 要 西井 望雄 西 中 劍 野 平 野 安 永 里  
松井 彪 南 出 三 郎 大西 寛 阿安 司 人 神野 正 貴 志 吉  
子安 茂 郎 三條 揚 壽 二 申 鶴 淳 谷 川 義 長 細 卓 西 川 源 一 郎  
林 邦 雄 藤原 成 生 三 村 一 夫 伊 槻 健 今 井 武 岡 本

- |   |   |  |  |  |  |   |   |   |  |   |   |   |  |   |   |  |  |   |
|---|---|--|--|--|--|---|---|---|--|---|---|---|--|---|---|--|--|---|
| 川<br>眞<br>野<br>田<br>好<br>達<br>三<br>憲<br>倫<br>郎<br>二   | 後<br>宮<br>田   | 藤<br>内<br>中  | 行<br>義<br>正  | 雄<br>人<br>次  | 坂<br>大<br>岡  | 本<br>銅<br>本   | 好<br>夫<br>敏   | 田<br>奥<br>福   | 中<br>村<br>留  | 實<br>百<br>刻   | 苗<br>郎<br>夷   | 丸<br>古<br>村   | 浦<br>林<br>口<br>猛   | 幸<br>薰<br>俊   | 鈴<br>坂  | 木<br>本   | 利<br>本   | 夫<br>猛  |
| 青<br>山<br>久<br>一<br>上<br>郎<br>與<br>彰<br>夫<br>二<br>志<br>聖<br>作<br>治<br>榮<br>雄<br>信<br>雄<br>弘<br>雄<br>二<br>甲<br>一<br>夫<br>吾<br>謙<br>平 | 山<br>田<br>吉<br>大<br>義<br>和<br>一<br>代<br>修<br>正<br>義<br>敦<br>秀<br>恒<br>倫<br>一<br>與<br>忠<br>完<br>謙<br>平 | 上<br>飯<br>阿<br>磯<br>龜<br>熊<br>齋<br>高<br>磯<br>河<br>桑<br>坂<br>高<br>中<br>日<br>増<br>堤<br>濱<br>吉<br>古<br>門<br>若 | 荷<br>山<br>部<br>谷<br>田<br>貞<br>外<br>崎<br>雅<br>三<br>大<br>二<br>主<br>林 | 敬<br>外<br>鐵<br>貞<br>外<br>五<br>雅<br>三<br>大<br>二<br>主<br>林 | 一<br>治<br>渠<br>磨<br>蕃<br>穂<br>吉<br>正<br>郎<br>夫<br>郎<br>要<br>郎<br>廣<br>郎<br>隆<br>郎<br>計<br>孝<br>正 | 金<br>梅<br>井<br>宇<br>木<br>小<br>荒<br>澤<br>橋<br>草<br>頭<br>橋<br>條<br>内<br>山<br>口<br>本<br>井<br>明<br>木<br>吉<br>内<br>守 | 茂<br>郎<br>男<br>七<br>繁<br>六<br>郎<br>雄<br>雄<br>一<br>一<br>馬<br>男<br>雄<br>陸<br>郎<br>夫<br>龍<br>實<br>郎<br>美 | 京<br>河<br>池<br>緒<br>鬼<br>小<br>島<br>竹<br>大<br>菊<br>後<br>徐<br>竹<br>長<br>平<br>丸<br>中<br>比<br>渡<br>松<br>山 | 極<br>上<br>谷<br>方<br>原<br>新<br>田<br>下<br>繁<br>地<br>藤<br>三<br>吉<br>川<br>新<br>信<br>次<br>吉<br>直<br>信<br>尾<br>精 | 醇<br>房<br>一<br>貞<br>太<br>善<br>兼<br>三<br>貫<br>新<br>三<br>吉<br>川<br>新<br>信<br>次<br>吉<br>直<br>信<br>尾<br>精 | 而<br>義<br>雄<br>最<br>義<br>郎<br>市<br>吉<br>郎<br>一<br>藏<br>善<br>惠<br>吉<br>弘<br>郎<br>秋<br>永<br>之<br>強<br>一 | 富<br>竹<br>青<br>太<br>菊<br>郷<br>杉<br>武<br>太<br>岸<br>米<br>杉<br>谷<br>橋<br>平<br>南<br>西<br>山<br>東<br>松<br>柚 | 山<br>内<br>千<br>代<br>圓<br>地<br>孫<br>六<br>要<br>久<br>茂<br>稔<br>貞<br>謙<br>郎<br>保<br>英<br>進<br>善<br>郎<br>夫<br>男 | 松<br>二<br>榮<br>藏<br>隆<br>治<br>郎<br>吉<br>良<br>茂<br>稔<br>貞<br>謙<br>郎<br>保<br>英<br>進<br>善<br>郎<br>夫<br>男 | 山<br>三<br>生<br>奥<br>清<br>佐<br>會<br>舟<br>加<br>久<br>齋<br>田<br>土<br>橋<br>藤<br>村<br>萩<br>山<br>平<br>美<br>横 | 崎<br>好<br>野<br>谷<br>永<br>藤<br>我<br>原<br>潮<br>谷<br>保<br>官<br>口<br>多<br>谷<br>村<br>田<br>原<br>名<br>林<br>安<br>山 | 博<br>宗<br>俊<br>正<br>永<br>興<br>英<br>原<br>谷<br>義<br>富<br>文<br>獻<br>良<br>重<br>照<br>官<br>兵<br>和<br>三 | 之<br>逸<br>男<br>治<br>正<br>夫<br>丸<br>健<br>男<br>光<br>男<br>雄<br>一<br>平<br>一<br>雄<br>六<br>晃<br>右<br>夫<br>郎 |
- 正 會 員 (轉 格)
- 准 會 員 (轉 格)

土木學會々員數 (昭. 16. 10. 27. 現在)

名譽會員	正會員	准會員	學生會員	特別會員	贊助會員	合計
2	3990	5449	1400	137	26	11004

正會員 井上二郎君, 木村辨吉君, 山本友太郎君の訃報に接す 本會は  
 恭しく哀悼の意を表す

准會員 住江兼美君, 田中香苗君, 中田正基君, 中村裕邦君, 古川朝時君  
 森 眞敏君の訃報に接す 本會は恭しく哀悼の意を表す

# 既刊會誌殘部内譯

(昭. 16. 11. 現在)

(\* は残部有るものを示す)

卷 號	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	金額 (1部) (圓)
6	—	—	—	—	—	*	—	—	—	—	—	—	2.00
7	—	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
8	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
9	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
10	—	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	2.00
11	—	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
12	—	*	*	—	*	—	—	—	—	—	—	—	2.00
13	—	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
14	—	*	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	2.00
15	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
16	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
17	*	*	*	*	*	—	*	*	—	—	*	—	1.00
18	—	—	*	—	*	*	*	*	*	*	*	—	1.00
19	*	*	*	—	*	*	—	*	*	*	—	*	1.00
20	—	—	*	—	—	—	*	—	*	—	*	*	1.00
21	—	—	*	*	—	—	*	—	*	—	*	*	1.00
22	—	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
23	—	*	—	*	—	—	*	*	*	*	—	—	1.00
24	*	*	*	*	—	*	*	*	*	*	*	—	1.00
25	—	*	—	—	—	—	*	—	*	*	—	—	1.00
26	—	*	—	*	—	—	*	—	*	*	—	—	1.00
27	*	*	*	*	*	*	*	—	*	*	*	*	
第 20 卷第 12 號 (創立 20 周年記念號) .....													1.50
第 21 卷第 7 號 (會誌索引付) .....													1.30
大正十二年關東大地震被害調査報告書 (1, 2, 3) .....													18.00
鐵筋コンクリート標準示方書} .....													1.20
同 上 解 說} .....													
土木工學論文抄録第一輯 .....													3.50
土木工學論文抄録第二輯 .....													5.00
土木學會誌索引 (第 1 卷第 1 號~第 20 卷第 12 號) ..													0.50
土木工學用語集 .....													2.50

上記残部會誌其の他の刊行物御希望の場合は所定金額を振替口座東京 16828 番にお拂込み下さい。



## 會 告

土木學會對爆調查委員會は其の第一着手事業として土木防空に関する文獻の蒐集整理と其の紹介を行ふことになつた。

文獻紹介の方法としては内外の文獻を差支ない程度に於て隨時土木學會誌卷末に發表するが其の整理に當つては次に掲げる分類表に依るものとする。尙ほこの表に依り防空に關して考慮すべき事項を明示し會員諸君の參考に資せんとするのである。

一例として標題 1—2—3 の數字を冠したものは空襲判斷中の投下彈の部の中で命中精度に關する事項に屬する文獻であることを示してゐる。

昭和 16 年 11 月

### 土木學會對爆調查委員會委員

委員長	吉田 徳次郎			
委員	青木 楠男	石塚 久展	奥田 教朝	河上 房義
	佐田 昌夫	齋藤 卯之助	淨法寺朝美	友永 和夫
	畑野 正	町田 保	森 茂	
幹事	木間 仁	最上 武雄		

# 土木防空資料目次

## 1 空襲判断

### 1-1 空襲

1-1-1 飛行機の種類及び性能

1-1-2 空襲目標

1-1-3 空襲方法(時期、編隊、高度、爆撃方法、照準、掃射、瓦斯雨下、落下傘部隊、等)

1-1-4 氣象

1-1-5 其他(基地、機數、等)

### 1-2 投下彈

1-2-1 投下彈の種類(形狀寸法、重量、信管、炸藥量、等)

1-2-2 彈道(彈道、落角、着速、經過時間、等)

1-2-3 命中精度(躲避、命中率、等)

### 1-3 投下彈の威力

1-3-1 爆彈(侵徹、貫徹、爆發、爆風、振盪、振動、彈片、破片、燒夷、發生瓦斯、爆音、等)

1-3-2 爆彈の水中威力

1-3-3 燒夷彈(侵徹、爆發、燒夷、等)

1-3-4 瓦斯彈(侵徹、爆發、瓦斯效力、等)

1-3-5 特殊彈(複合爆彈、照明彈、細菌彈、等)

1-3-6 其他(高射砲の彈片其他)

1-4 其他(實例、報告、等)

## 2 防空一般

2-1 軍防空(防空飛行隊、高射砲、高射機關砲、高射機關銃、聽音機、照空燈、防空氣球、情報指揮通信、等)

2-2 監視、通信及び警報

2-2-1 監視(爆音、方法及び器材、哨舎、組織、等)

2-2-2 通信(系統、方法及び器材、等)

2-2-3 警報(種類、傳達方法及び器材、等)

2-3 燈火管制

2-3-1 燈火管制の一般原則(燈火の可視度、祕匿の程度、管制用具、等)

2-3-2 屋内燈の管制(工場、車輛其他)

2-3-3 屋外燈の管制(作業用、荷役用、操車場用、等)

2-3-4 交通信號燈及び標識燈(街路、鐵道、軌道、航路、航空路、車輛、自動車、船舶舟艇、航空機、等)

2-3-5 特殊火光の管制(煙突、熔鑄爐、機關車焚ロスパーク、集魚燈、誘蛾燈、ボタ山、等)

2-3-6 障礙標識

2-4 偽裝

2-4-1 物件の可視度(環境、明度、色彩、光澤、形態、等)

2-4-2 偽裝の程度

2-4-3 偽裝方法(一般原則、迷彩、遮蔽、偽工事、植樹、等)

2-4-4 水面偽裝

2-4-5 偽裝材料

2-5 防彈及び耐彈

2-5-1 材料及び構造

- 2-5-2 防護施設（防弾層、開口部の防護、構造物の補強、重要機器の防護、等）
- 2-5-3 防空壕及び防護室
- 2-5-4 防弾及び耐弾建築
- 2-6 防火及び消火
  - 2-6-1 火災現象
  - 2-6-2 防火材料及び防火構造
  - 2-6-3 防火施設
  - 2-6-4 消防器材
  - 2-6-5 消火施設
  - 2-6-6 消防水利
  - 2-6-7 特殊危険物の防火及び消火
  - 2-6-8 山林原野等の防火及び消火
  - 2-6-9 防空消防組織及び戦術
- 2-7 防毒、防疫及び救護
  - 2-7-1 毒瓦斯（性能、擴散、上昇、流動、檢知、等）
  - 2-7-2 防毒資材（防毒面、防毒衣、濾過換氣裝置、氣密扉、目張及び密閉材料、等）
  - 2-7-3 集團防護
  - 2-7-4 物料防護
  - 2-7-5 瓦斯消毒
  - 2-7-6 防疫（細菌の種別及び害毒、防疫の組織、設備、施設、等）
  - 2-7-7 救護（方法、組織、資材、救護所、等）
- 2-8 應急防護及び復舊
  - 2-8-1 構造物の應急防護及び補強
  - 2-8-2 構造物の應急修理及び復舊
  - 2-8-3 工作班の組織及び器材
- 2-9 其の他
  - 2-9-1 退去、避難及び待避
  - 2-9-2 配給（衣服、食糧、飲料水、住居、等）
  - 2-9-3 警 護
  - 2-9-4 各種制限（音響、航空、交通、通信、氣象報、等）

### 3 土 木 防 空

- 3-1 一般対策（位置、敷地、配置、形態、分散、二重及び豫備施設、等）
- 3-2 事業場、鑛山及び工場
- 3-3 運輸交通施設及び機關
  - 3-3-1 鐵道、軌道及び地下鐵道
  - 3-3-2 道路及び街路
  - 3-3-3 橋 梁
  - 3-3-4 港 灣
  - 3-3-5 運河及び河川
  - 3-3-6 航 空 港
- 3-4 供給施設及び下水道
  - 3-4-1 上水道



- 3-4-2 下水道
- 3-4-3 電 氣
- 3-4-4 瓦 斯
- 3-5 都市計畫、地方計畫及び國土計畫
  - 3-5-1 都市計畫
  - 3-5-2 地方計畫
  - 3-5-3 國土計畫
- 3-6 其 の 他

#### 4 法規及び指導要領

- 4-1 防空法規
- 4-2 指導要領
- 4-3 保 險

#### 0 用語及び文献

- 0-1 用 語
- 0-2 文 獻

## 0-2 文 獻

- 防空概論(内計刊)<sup>(1)</sup> A-5 判 47 頁  
防空の必要性、一般的方法、都市防護に就て概説した昭和 13 年に於ける東部防衛司令部の講習録の一部である。
- 諸外國の民衆防空施設概要(内計刊) A-5 判 17 頁  
海軍藥劑大佐清水辰太郎博士の英國、佛國、獨逸、ポーランド、蘇聯の各國の組織及び施設に就てその概要を講述したものである。(昭. 13)
- 歐洲危機中の英國防空準備と其の後の對策(内計刊) A-5 判 20 頁  
英國が 1936 年の危機に際して爲した防空準備及び其の後の對策を記述したものである。(昭. 13)
- バルセロナに於ける空襲に依る被害と防空施設(内計刊) A-5 判 57 頁  
Cyril Helsby が 1938 年 12 月に Barcelona を調査研究し建築工學會に於て發表した報告 Air Raids, Structures and A. R. P. in Barcelona To-day の全譯である。(昭. 14)
- 獨逸防空法令解説(内計刊) A-5 判 191 頁  
航空省參事官マルゾウ氏外 2 名共著の獨逸防空法及び同施行規定解説(防空に關する命令、勤務規則並に警察規定を含む)の一部を翻譯したものである。(昭. 13)
- 獨逸の空襲避難所に關する規則(内計刊) A-5 判 17 頁  
獨逸の防空法「第 2 實施令」と「同令第 1 條に對する第 1 施行規則」とを翻譯したものである。前者は建築物の新築改修に對して、防空上必要なる建築的手段を講ずべき義務を課したものであり、後者は前者に基いて具體的に防護室の設置及び其の構造設備について規定したものである。(昭. 13)、都市公論(昭. 年月號)
- 獨逸の國民防空と防空協會の組織(内計刊) A-5 判 9 頁  
Sirene 誌 1937 年第 10 號所載の記事を翻譯したもので、一般國民に防空に關する組織を説明したものである。(昭. 13)
- 伊國工場の對空掩護に關する參考書(内計刊) A-5 判 63 頁  
伊太利の防空一般の組織及び施設に就て説明したもので、普通の工場のほか市町村役場、市場、港灣、其の他諸種の建造物に關する事項をも包含してゐる。(昭. 13)
- 防空——防空は何故必要か? 防空は如何に準備され實施されるか?(内計刊) A-5 判 14 頁  
瑞西聯邦政府に於て編纂せるパンフレット Luftschutz を翻譯したものである。(昭. 13)
- 蘇聯防空讀本(内計刊) A-5 判 106 頁  
蘇聯極東國立出版所に於て發行の都市住民用の初級防空化學解説書 Gotov k Pvo (1938 年版) を翻譯したものである。(昭. 15)
- 工場及店舗内に於ける空襲防備(英國防空叢書第 6 號)(内計刊) A-5 判 46 頁  
A. R. P. Handbook No. 6, Air Raid Precautions in Factories and Buisness Premises を翻譯したものである。防空一般に就て述べたもので附録には應急的防護施設としての土囊壁防空壕等の構造、救急隊の編成、裝備等に就て述べてある。(昭. 14)
- 工作救護隊と崩壞物の除去(英國防空便覽第 2 號)(内計刊) A-5 判 12 頁  
A. R. P. Memorandum. No. 2, Rescue Parties and Clearance of Debris (第 1 版) を翻譯したもので、工作救護隊の編成裝備、氾濫水に對する防備、破壞建築物の支持或は取毀し、道路の取片付及び修繕等に就て述べてある。(昭. 14)
- 市民防護(内計刊) B-6 判 24 頁  
英國政府發行の Civil Defence Public Information No. 1, 2, 3 (1937) を翻譯したものである。(昭. 13)
- 國民防空(内計刊) A-5 判 345 頁、圖 96、表 63

(1) (内計刊) は内務省計畫局刊行圖書。

- 英國の O. W. Glover 著 Civil Defence (1938) を翻譯したもので、空襲及び防空、爆彈、防空壕、防護室、耐彈防護室、防空組織等 13 章より成り、主として防護施設に就て説明してある。(昭. 15)
- 防空に關する一般國民の心得(内計刊) A-5 判 27 頁
- 埃及内務省民防空局編輯 Récommandations au public pour la protection contre les raids aériens (1939) を翻譯したものである。(昭. 15)
- 毒瓦斯被害者の應急救護(英國防空叢書第 2 號)(内計刊) A-5 判 28 頁  
A. R. P. Handbook No. 2, First Aid for Gas Casualties を翻譯したものである。(昭. 14)
- 瓦斯患者治療法(英國防空叢書第 3 號)(内計刊) A-5 判 83 頁  
A. R. P. Handbook No. 3, Medical Treatment of Gas Casualties を翻譯したものである。(昭. 14)
- 瓦斯消毒法(英國防空叢書第 4 號)(内計刊) A-5 判 43 頁  
A. R. P. Handbook No. 4, Decontamination of Materials を翻譯したものである。(昭. 14)
- 商船に對する瓦斯防禦法(英國防空叢書第 7 號)(内計刊) A-5 判 25 頁  
A. R. P. Handbook No. 7, Anti-Gas Precautions for Merchant Shipping を翻譯したものである。(昭. 14)
- 毒瓦斯中毒圖譜(英國防空叢書第 8 號)(内計刊) A-5 判 27 頁、圖 11  
A. R. P. Handbook No. 8, An Atlas of Gas Poisoning を翻譯したものである。(昭. 15)
- 防毒訓練に就て(英國防空便覽第 5 號)(内計刊) A-5 判 25 頁  
A. R. P. Memorandum No. 5, Anti-Gas Training を翻譯したものである。(昭. 15)
- 毒瓦斯に對する食品類の防護(内計刊) A-5 判 7 頁  
A. R. P. The Protection of Foodstuffs against Poison Gas を翻譯したものである。(昭. 15)
- チェコスロヴァキヤ共和國防毒具取締規定(内計刊) A-5 判 12 頁。(昭. 14)
- イタリヤ、フランス、ベルギー防毒具取締及檢定規定(内計刊) A-5 判 69 頁(昭. 13)